

急性中耳炎

緑4



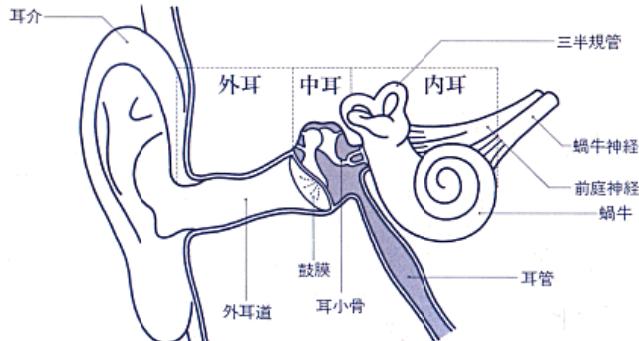
急性中耳炎は、耳の痛みと高熱が主症状。軽いかぜ症状だけで、耳が痛くない中耳炎もあります。長引いたり繰り返す中耳炎は治療に時間がかかります。早めに受診してください。



細菌が鼻から耳に入って炎症を起こす

「中耳」は、耳の鼓膜とその奥にある空間、耳と鼻を結ぶ「耳管」を通して、中耳の粘膜に至って発症します。多くはかぜをひいたときに、鼻やのどの炎症に引き続いで起こります。

子どもが中耳炎にかかりやすいのは、耳管が大人に比べて太く、短いため、細菌やウイルスが中耳に侵入しやすいからです。



鼻かぜが耳管を通って、中耳で炎症を起こすと中耳炎に！

●急性中耳炎の症状



- ・はげしい耳の痛み
- ・発熱
- ・耳だれ
- ・耳がつまつた感じ

*赤ちゃんはぐずったり、しきりに耳に手をやったりすることがあります。



抗生素や消炎剤で治療します

内診で中耳にたまつた膿、鼓膜や中耳の粘膜の腫れを確認し、中耳炎と診断します。

軽い場合は抗生素や消炎剤の内服、点耳薬で治療します。腫れや痛みが強いとき、熱が高いときは、鼓膜を少し切開して、たまっている膿を出すことがあります。鼓膜は切っても傷はふつう数日でふさがりますので心配いりません。

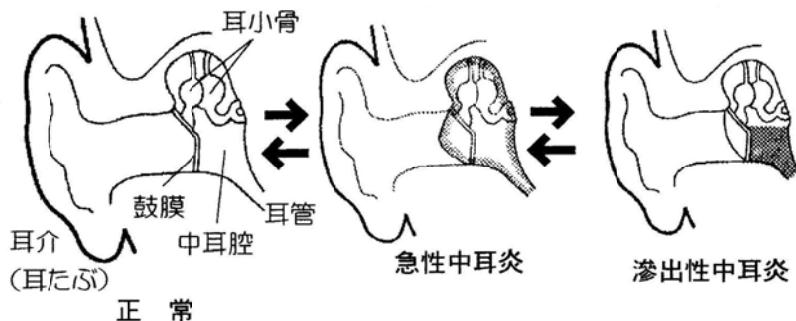


「痛くない・長引く・繰り返す」中耳炎に注意

●耳の痛みがなく、熱が出ない

鼻水や咳だけなのでようすをみるうちに、かぜ症状が強くなって受診したところ、急性中耳炎と滲出性中耳炎(別リーフレット有)を同時に起こしているケースがあります。

対策:急性中耳炎と滲出性中耳炎は炎症を起こすきっかけが違うだけで、同じく中耳に炎症を起こす病気です。鼻水や咳などの軽いかぜ症状でも早めに受診を。



急性から滲出性に移行することも、その逆もあります。

●症状が長引く

細菌とウイルスの混合感染による中耳炎もあります。

対策:中耳炎にウイルスが関係しているかどうかは、耳鼻科の外来で鼻水を取る検査ですぐに診断できます。混合感染による中耳炎は症状が長引きやすく再発しやすいので、早めに受診を。

●中耳炎を繰り返す

半年に3回以上、1年に4回以上中耳炎を繰り返すものを反復性中耳炎といいます。

急性中耳炎を繰り返すタイプと、滲出性中耳炎があるために急性中耳炎を起こしやすいタイプがあり、それぞれ治療法が違います。

対策:生後 10 か月～1歳前後で保育園などで集団生活をしている、きょうだいがいるお子さんで中耳炎をよく起こす場合は、かかりつけの耳鼻科医のもとできちんと治すことが大切です。

もろほしクリニック
三鷹もろほし耳鼻咽喉科
吉祥寺もろほし耳鼻咽喉科

